

第14回富山地区学校再編検討委員会 会議録

日時 平成22年12月21日（火）
午後7時
会場 富山公民館 多目的ホール
記録 黒川
欠席 嶋田委員
傍聴 3名

1. 開会

2. 検討委員長あいさつ

3. 教育長あいさつ

平群地区での市政懇談会の折、平群小学校跡に新校舎を建設してほしいと一人の方から意見があったが、その他多くの方からはそのことに対しての意見はなかったと思う。

今後、再編についての説明会を1月20日に予定しているが、その折りにも富山小学校の建設場所として富山中学校敷地内を考えていると説明する予定である。富山中学校敷地に建設する関係から、様々な教育形態のあり方を含めて議論してもらうことになるが、本日は突然すぎるので第15回の検討委員会でどのような方向で進めてよいのか検討をしてもらいたい。

平成23年度の再編検討委員会では小中の保護者代表にも参加してもらい富山地区再編について協議してもらおう考えである。

平成27年度には全ての建物を完成させることが必要なので、今後も大変な中だが協議を重ねてもらいたい。

4. 報告

事務局 第13回の議事録についての承認確認（承認）資料確認

第13回の検討委員会では幼・小の再編検討委員会と新校舎建設に関する委員会とは切り離して協議をしていくことが確認されている。11月16日と18日に市政懇談会が実施され、その中で再編に関する市の方針は再編検討委員会の方針案をもとに進めていく考えであると話された。

新校舎の建設は富山中学校にすることは市政懇談会ではおおむね理解

してもらえたと考えている。

これらの経緯を踏まえて本日の協議をお願いしたい。なお、この検討委員会は子どもたちの学習環境向上を目的として協議し、進めていきたい。

5. 議事

事務局 設置要項の定めにより委員長に議長をお願いする。

委員長 本日の出席委員は18名で、検討委員会会議は成立する。

傍聴希望が出ているので、傍聴を許可する。(3名)

第1号議案「平群小学校・幼稚園の存続を求める会からの要望書及び質問書について」を議題とする。

11月17日付けの「平群小学校・幼稚園の存続を求める要望書」では、新設する小学校校舎を平群小学校、平群グラウンド敷地に建設して欲しいとの要望がされた。

この件については、市政懇談会の中で、市長から、富山中学校の敷地内に小学校校舎を建設する旨の提案があった。

当検討委員会としては、新しい校舎の位置については、地域の方々の意見も踏まえて決定していただきたいので、今後は、できるだけ早いうちに、校舎が建設整備されるように、市に積極的な要望をしていきたいと思う。

事務局 存続を求める会からの1番目の質問についてであるが、教育委員会では、建設委員会を立ち上げて場所を検討するとは言明していない。

新校舎建設場所は、市として検討し、地域に提案していきたいと思っている。市の内部で検討した結果を市長から市政懇談会で示させていただいたものであるので、ご理解をお願いしたい。

場所選定の考え方は、市長からの説明にもあるとおり、財政的に有利な裏付けがあるうちに小学校校舎を整備することが一番望ましい。市の財政面からも平成27年度までに完了していきたい。

富山地区の小学校を建設地として検討したとき、すぐ建設していく場所として、富山中学校が最も可能性が高いと判断している。通学支援のスクールバス運行を考えても、富山中学校の位置が財政的にも望ましい。また、自然、地形等安全面に関しても富山中敷地が良いと判断した。今後の地区説明会に於いて、これらの点について説明していきたい。

委員 場所については白紙、地域の方の意見も踏まえてから進めていく方向だと理解していたが、今回のように場所を決めてしまう方向はどうだろうか。今後の説明会の中で提案し、共通理解をしていくことがよいのでは

と考える。

教育長 白紙の状態から考えていくと時間がない。しかし、決めつけているのではない。

委員 説明会の中で原案を提案しながら決めていってほしい。

教育長 これまでの経緯についても説明してきたが、今後も説明し、理解を求めていく。

委員 先日の市政懇談会でもそうだが、建設場所については後で話し合いがもたれるものと参加者は理解していたと思う。懇談会では流れを確認しただけで、きちんとした説明・検討をする場が必要だと考える。

委員長 ご意見は理解できる。他に意見はないか。

委員 特になし。

委員長 検討委員会としては市の方針の沿っていくと言う事でよろしいか確認したい。今後、市として地域の意見を十分に汲み取っていただきたい。

存続を求める会からの次の質問で、新校舎の建設時期にあわせた統合について求めているが、当検討委員会では子どもたちの学習環境の改善を最優先と考え、早期の再編が必要だとしている。新校舎建設とは切り離していきたいと考える。委員の考えはいかがか。

委員 異議なし。

委員長 平成24年4月1日を目標に統合する方針であることを確認する。存続を求める会からの意見、質問に対する協議は終わる。

次に第2号議案「富山地区学校再編方針案の確認について」を議題とする。事務局より説明を求める。

事務局 資料No.4「岩井幼稚園・小学校、平群幼稚園・小学校再編方針案」をご参照願いたい。

- ① 統合の期日は平成24年4月1日とする。
- ② 統合幼稚園・小学校の位置については現在の岩井幼稚園・岩井小学校の位置とする。(新校舎建設までの期間)
- ③ 統合幼稚園・小学校の名称については富山幼稚園・富山小学校という名称とする。

追加資料として資料No.7「再編検討委員会の専門部会の名簿及び通学支援部会の実施内容」もあわせて確認願いたい。

通学支援部会の検討事項の報告内容は、通園・通学の支援規準、支援方法、今後の検討スケジュールなどである。

- ①、②、③及び通学支援部会の検討内容は今後の説明会に説明する。ま

た、専門部会の1つカリキュラム部会より補足説明をお願いする。

委員 来年1月になると次年度の学校行事についての検討が開始される。現段階では平群小と岩井小との交流として6年生が実施している。平成24年度に合併という方向で考え、次年度の交流等を考えていく必要がある。

委員長 確認事項についての意見・質問はあるか。

事務局 カリキュラム部会からの確認事項だが、交流学习や総合学習等の中でお互いと一緒にになったときの不安解消として、是非実施してもらいたいと考える。

委員 再編方針案の基本事項②について、方針案作成時には、新しい校舎を建設し、完成した時点で統合するという考えはなかった。両学校の児童数が少ないことから、早期に一緒になった方がよいという考えでスタートした。新校舎建設については検討委員会のテーマではなかった。両校の児童を一緒にする場合にどちらの校舎にするかを考え、岩井小にしようという共通認識であった。新校舎が確実に平成26～27年度にできるのであれば、今後の説明会で、地域から「その時点まで待ってみては」との質問等に説明しがたい部分があるのではないか。

教育長 再編会議の当初に両校舎とも老朽化しているという意見があった。建て直してほしいという意見に対して教育委員会は取り上げてこなかった。新校舎建設を条件とすると市の財政面からも厳しいものがあり、再編と新校舎建設とは別の問題として考えてきた。その後、児童数等の面から統合の方向が出てきたが、学習・生活環境両面を考えると、現在の両校の傷みはひどい状況であるとの判断から市から立て直しの考えが出てきたと考える。

委員 新校舎を建てる場合の位置について、“平群でも良いのではないか”という意見も考えられる。岩井小とするなら改修はならない、別の場所へ建設を、などの意見が出ると思う。今後の説明会での対応について共通認識をしておきたい。

事務局 これまで両校の児童を一緒にし、一定規模の学習環境を整えようということが柱であって、どこに建てるかということは検討委員会の協議事項から切り離していくべきだと考える。

委員 ここまで、新しい学校を建設するということが見えている段階で、無駄なことをする必要もないのではないか。

委員 その部分をしっかりと確認しておくことが必要だと思う。

委員 子どもたちを統合させるということは無駄ではないと思う。平成24年

度から一緒になるということは、人数の面からも意義のあることだと考える。

委員 基本的事項の①、③については理解できる。②について、校舎建設と一緒に考えてしまうと説明は難しい。

委員長 再編検討委員会としては児童数をもとに統合していくことを確認したい。

教育長 統合に関して児童数の問題が根底にあったわけで、一緒になってより多くの人数でやっていくということが大前提である。その場合には多くの人数を収容できる岩井小が適しているという結論を頂いたと思う。

その先の校舎が傷んでいるため、どこにたて直すかという問題については、市や教育委員会が中心となり、考えを進めていくと言ふことの理解がいただければと考える。

委員 地区説明会の中で新校舎建設について、検討委員会としては具体的なことは話せない。両校が統合していくことについては理解しているので、新校舎の件については事務局側にあまり触れてもらわない方がよいと考える。

事務局 検討委員会の中では極端に児童数の少ない現状もあり、子どもたちの学習環境の面からも、複式学級等の解消を考え、少しでも早く統合することが必要であるので、現在の方針案に沿った形で学習できる環境整備を考えていきたい。

委員長 これまで検討してきた再編方針案なので、この方向で進めるということではよろしいか。

教育長 教育委員会としては、検討委員会の再編方針として受けさせてもらう。それとは別に、校舎改築等について教育委員会の責任として、皆さんの意見を聞きながら進めていくということで理解してもらいたい。

委員 この検討委員会は児童が一緒になるということを土台として会議をしていく場である。校舎建設については、教育委員会として説明をお願いしたい。

委員長 次に第3号議案「岩井小学校校舎等の改修について」を議事とします。

事務局 資料No.5「統合に伴う岩井小学校の改修について」をご覧いただきたい。通学支援の問題や子どもたちの生活環境の改善を考え、効率的な整備をしていく予定である。

委員長 提案についての意見・質問はあるか。

委員 この計画はいつから実施していくのか。

事務局 時期的には夏休みを中心に考えていきたい。平成23年度の夏休みとなる。

委員長 他にあるか。

委員 スクールバス回転・駐車場の位置が校庭内ということは安全面からもよいと思われる。

事務局 学校側と十分協議して整備をして行きたいと考えている。

委員長 他に意見はあるか。

委員 意見なし。

委員長 次に第4号議案「地区説明会の開催について」を議題とする。事務局より説明を求める。

事務局 資料No.6「富山地区学校再編検討委員会 地区説明会開催チラシ」をご確認いただきたい。

①平成23年1月20日(木)午後7時から 富山保健福祉センター会場

②説明内容についてはこれまで協議してもらった内容を説明

③専門部会の検討状況をもとに説明。

これらの説明により地域の方々の不安解消に役立てたい。

委員長 何か質問はあるか。

委員 私たち全員参加か。

委員長 委員の方は全員参加してほしい。

事務局 この説明会は検討委員会の方の主催となるため、全員の参加をお願いしたい。地域の方への説明は地域に近い方々のほうが効果的であるとする。

委員長 他に何かあるか

委員 会場の広さは大丈夫か

事務局 先日の市政懇談会の参加状況から大丈夫だと考える。

委員長 ほかに質問等があるか。

委員 特になし。

委員長 次に第5号議案「第15回検討委員会の日程について」を議題とする。

事務局 1月下旬を考えている。日程等については確認後に調整をし、後日連絡をする。

委員長 質問はあるか。

委員 なし。

委員長 質疑がないので、本日の議事は終了する。

事務局 以上で会議を終了する。